

大学コンソーシアム石川 2011 年度第 1 回 FD・SD 研修会

「学生の学習意欲を高め、双方向授業を展開するためのクリッカー活用術」

日時：5 月 20 日（金） 18 時～19 時 30 分

場所：石川県政記念しいのき迎賓館 3 階 セミナールーム B（金沢市広坂 2 丁目 1 番 1 号）

※テレビ会議システムを用い、コンソーシアム加盟高等教育機関に送信します

（最大 5 機関：お申込みが必要です）

講師：青野 透（金沢大学教授 大学教育開発・支援センター教育支援システム研究部門）

趣旨：

中教審答申『学士課程教育の構築に向けて（答申）』（平成 20 年 12 月 24 日）は、教育改善に関し、「具体的な改善方策【大学に期待される取組】」として、「教育研究上の目的等に即して情報通信技術を積極的に取り入れ、教育方法の改善を図る。的確な授業設計を行った上で、例えば、以下のような取組について検討する。・・・携帯端末を活用した学生応答・理解度把握システム（いわゆるクリッカー技術）による双方向型授業の展開」と指摘した。これを一つの契機として、日本の高等教育機関におけるクリッカーの導入が進み、朝日新聞 2011 年 2 月 21 日付け「クリッカーで授業盛況」では、立正大学経済学部における学生全員（約 1600 人）への配付の例が紹介されるとともに、一社だけでもクリッカーを「07 年春以降、250 大学で約 6 万台を販売」と報じている。当コンソーシアムでもクリッカーを購入し、すでに複数の大学に貸し出しており、また、加盟機関の間でもクリッカー導入が進んでいる。

今回の研修会では、当地でいち早くクリッカーを導入した金沢大学の事例を紹介する。それにもとづき、参加者との意見交換で、さまざまな活用法が考えられる中で、特に学生の学習意欲を高め、双方向授業を展開するためには、どのような「的確な授業設計」が求められるのかについて検討を試みたい。なお、当日、クリッカーを実際に使用する。

参加お申込み： 次の要領で、メールでお申し込みください

件名「第 1 回 FSDS 研修会参加申込」として、

① 機関名 ②所属 ③氏名をご記入のうえ

Mail：oono@ucon-i.jp（担当：大野） までお送り願います。

※開催日の前日まで受付いたします。

大学コンソーシアム石川 事務局
主幹 大野 加奈子
920 - 0962
金沢市広坂 2 丁目 1 番 1 号 石川県政記念しいのき迎賓館 3 階
Tel 076-223-1633
Mail oono@ucon-i.jp